

サービスとしてのレンタルの可能性を追求



NTTレンタル・エンジニア
リング代表取締役社長

上間 功也

スを提供し、NTTの良質
かつコストミニマムな通信
インフラづくりに貢献して
います。

近年では、光関連の工具
・測定器などを中心とした
分野から様々な分野に事業
領域を広げており、今後、

NTT・レンタル・エン
ジニアリング（NTTRE
C）は、光ファイバーケー
ブルネットワークを全国に
構築するための機器調達に
寄与することをミッション
として創立以来、単に物を
貸すレンタルということで
なく、NTTグループの一員として培ってきたお客様
へ向けて、「RE Cバリュー」と称する付加
価値のあるレンタルサービスと捉えています。

そのため、昨年は電気通信事業へ進出し、IOTサービスとして、NTT東日本と連携して、工事の安全確保のため作業状況を遠隔で映像モニターリングする「どこでも『m-e』REC」や、働く人々の健康と安全のために積極的に取り組みと併せて経営基盤を強化するIoTや5Gの本格化するIoTや5GのめバイタルデータをモニターリングするウェアラブルIoTサービス「REC,s G A JUMARU」の提供を開始したところです。さらに、昨今の「デジタル革命」の中でSDGs経営の感染予防対策を徹底し、業界活動においては、今までのものにしていきます。NTTRE Cは設立以来その理念を実践してきており、中でレンタルの可能性を追求していくため、会社の一層の成長へのチャンスでもあります。工事器具の出張メンテナンスや現地デモなども制

くありましたが、コロナ禍であらゆるもののがネットワークにつながるデジタル革命での業務継続や、リモートワークが本格化すると、ビジネスづくり新たなニーズによる、や生活が劇的に変化します。コロナ禍においてこの流れは大きく加速されま
るです。当社としてこの状況下においてもお客様とのコミュニケーションを取るため、オーブンイノベーションといわれるよう、外部や異分野とも積極的に交わ
り、デジタル革命が生まれます。そのような状況に臨んで、声を伺い、お困り事の解決に貢献していきたいと考えています。

エニアリングエコノミーの潮流により、レンタルの活用が、無駄なものを作らず資源を取り入れ、社会的課題の解決に貢献していくたいと思います。新型コロナウイルス感染症の状況に関しては、社内テムをつくり出し、地球環境にもお客さまにも優しい削減できるというエコシステムを実践してきており、中でレンタルの可能性を追求していくため、会社の一層の成長へのチャンスでもあります。工事器具の出張メンテナンスや現地デモなども制